

令和5年度 杜の都エコ・スクール活動報告書

| | | | | | |
|------|---|-----|-------------|-----|-------|
| 学校番号 | 8 | 学校名 | 仙台市立上杉山通小学校 | 校長名 | 鎌田 康彦 |
|------|---|-----|-------------|-----|-------|

1 取組のテーマ「わたしたちができる身近なエコ活動」



2 取組の紹介

(1) 朝の落ち葉掃き（緑化委員が始業前の時間に活動）

校門の前のイチョウがたくさん葉を落とします。そこで、緑化委員が教職員と一緒に朝8時から歩道の落ち葉掃きをしています。今年は学校で育てていたコキアの枝をホウキとして使い、大変好評でした。道行く人々からも「ありがとうございます。」の感謝の声が数多く寄せられました。



(2) 緑化活動

愛宕上杉山通に面する一画に「上杉フラワーあいさつロード」があります。この花壇には、毎年緑化委員会の子供たちが季節の花を植え、水やりや雑草取りの世話をしています。今年は、環境局からいただいたリサイクルプランターも活用して、夏にベゴニア、インパチェンス冬には、葉ボタン、パンジーなどの苗を植えました。



また、全国都市緑化フェア会場に展示されていたアートプランターを校門付近に置いています。冬に入る前にチューリップの球根やクロッカス、葉ボタンの苗を植えました。このアートプランターは、車両進入防止の観点からも大変役に立っています。



(3) ごみの分別・リサイクル推進

各教室に三つのゴミ箱を用意し、普通のごみ・プラごみ以外にも感染症対策用のゴミ箱を用意し使用しています。また、リサイクルボックスを使用し紙類の分別と裏紙活用も進めています。



3 取組の成果（児童の変容）

落ち葉清掃では、児童がたくさんの教職員と活動しながら、地域の人々にも感謝されたことで成長の跡が見られています。緑化活動では、水やりが習慣化されつつあります。ごみの分別は、担任が進んで行うことにより、今では児童の間にも分別の意識が根付いています。